

豊田工業大学

2026 年度 大学院修士課程〈学部 3 年次学生を対象とする特別選抜〉入学者選抜要項

項 目	内 容												
1. 募集人員	先端工学専攻 … 若干名 ・ 機械システム分野 ・ 電子情報分野 ・ 物質工学分野												
2. 出願資格	次の(1)および(2)を満たす者 (1) 2026 年 3 月末において本学在学期間が 3 年に達する者 (2) 選抜試験に合格した後、2026 年 3 月 31 日までに、以下の①・②の条件を満たす見込みの者 ① 4 年次に修得すべき必修科目を除く卒業に必要な単位をすべて修得し、E-SUP130 ポイント以上を取得していること ② 全履修科目(*)の 4/5 以上が S または A を得ていること (*)GPA 対象科目に限定												
3. 出願期間	2025 年 7 月 11 日(金) ～ 7 月 25 日(金) 〈消印有効〉												
4. 選考	(1) 選考方法 筆記試験および面接試験を実施する。 (2) 合否判定 筆記試験(*), 面接試験の各結果ならびに出願書類の内容に基づいて総合的に判定する (*)大学院修士課程〈一般選抜〉と同じ試験												
5. 選考内容	【筆記試験】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基礎科目</th><th>配点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物理学・化学・情報学(物理学と化学から各 3 問、情報学から 1 問出題。3 科目 7 問の出題から 3 問選択。物理学のみ・化学のみの選択も可。)</td><td>100 点</td></tr> <tr> <td>数学</td><td>100 点</td></tr> <tr> <td>英語 (筆記試験は行わない。TOEIC®L&R、TOEIC®L&R-IP、TOEFL-iBT®, TOEFL-ITP®のいずれかのスコアをもって英語の点数とする。)</td><td>100 点</td></tr> </tbody> </table> (*)TOEIC®L&R-IP および TOEFL-ITP®のスコアの利用は、本学学部在籍者で本学実施のテストに限る。 【面接試験】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>個人面接</th><th>配点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学問・研究に関する問題意識、勉学意欲および専門分野の基礎知識等を試問する。</td><td>50 点</td></tr> </tbody> </table> (*)出願時に課題の提出あり。(詳細は募集要項参照) 筆記試験と面接試験および出願書類を通じて、大学院修士課程で学修するために必要な基礎学力と志望する専門分野の基礎知識、学修・研究への意欲、論理的に考え表現・論述する力などを評価する。特に、修士課程で取り組む研究内容・方法などの考え方や研究遂行能力、探究活動等の実績があればその習熟状況や成果なども重視する。	基礎科目	配点	物理学・化学・情報学(物理学と化学から各 3 問、情報学から 1 問出題。3 科目 7 問の出題から 3 問選択。物理学のみ・化学のみの選択も可。)	100 点	数学	100 点	英語 (筆記試験は行わない。TOEIC®L&R、TOEIC®L&R-IP、TOEFL-iBT®, TOEFL-ITP®のいずれかのスコアをもって英語の点数とする。)	100 点	個人面接	配点	学問・研究に関する問題意識、勉学意欲および専門分野の基礎知識等を試問する。	50 点
基礎科目	配点												
物理学・化学・情報学(物理学と化学から各 3 問、情報学から 1 問出題。3 科目 7 問の出題から 3 問選択。物理学のみ・化学のみの選択も可。)	100 点												
数学	100 点												
英語 (筆記試験は行わない。TOEIC®L&R、TOEIC®L&R-IP、TOEFL-iBT®, TOEFL-ITP®のいずれかのスコアをもって英語の点数とする。)	100 点												
個人面接	配点												
学問・研究に関する問題意識、勉学意欲および専門分野の基礎知識等を試問する。	50 点												

6. 選考日	試験日：2025 年 9 月 3 日(水) 予備日：2025 年 9 月 4 日(木)
7. 合格発表日	2025 年 9 月 10 日(水)
8. 留意事項	(1) 学部 3 年次学生を対象とする特別選抜に合格した後、出願資格に定めた条件を満たすことができなかった場合は合格を取り消す。 (2) 学部 3 年次学生を対象とする特別選抜に合格し、大学院に進学した場合、学部は退学扱いになる。
9. 安全保障輸出管理について	本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理規程を定め、貨物・技術の持ち出し、送付における管理や、共同研究、研究者・留学生・学生の受け入れ等に関する確認を行っている。これにより、本学大学院の提供する教育・研究内容は、安全保障輸出管理の規制対象となる場合がある。規制事項に該当するおそれのある場合は、希望する教育・研究が受けられない場合や、変更を求められることがある。 ※安全保障輸出管理の詳細については、経済産業省の安全保障貿易管理のウェブサイト参照すること。 《経済産業省ウェブサイト》https://www.meti.go.jp/policy/anpo/